



インカレ本戦 総合8位 @江ノ島

平素よりお世話になっております。90代主将を務めております森田颯斗と申します。今回は、先日11月に開催されました第89回全日本学生ヨット選手権についてご報告させていただきます。

結果としては、470級11位、スナイプ級5位、総合8位と残念ながら目標としていた総合3位には大きく届かない結果となってしまいました。ですが、出場メンバーに3回生以下が多く含まれていてインカレの経験値を積むことができたり、4回生が素晴らしい走りを見せてくれる場面があったり、最終レースを両クラスともトップホーンで締めくくったり、サポートメンバーも野口や山田、マネージャーを筆頭に完璧な動きをしてくれたりと成績こそ昨年度より後退したものの確実に京大ヨット部の成長にとっては重要な一歩を踏むことができたと思っております。最後まで暖かいご支援ご声援を賜りありがとうございました。

このインカレを終えて89代の偉大な5人の先輩方は引退され、90代が始動いたしました。今年度の目標は「強いチームの基盤を創り、全日本インカレ総合4位を取る」です。現在は成績が下降傾向にありますが、恒常的に勝てる強豪になるために必要な技術、行動、運営体制というような基盤を創って全日本インカレで総合4位を取ることで立て直し、次の代へと繋ぎたいと思っております。そして、恒常的に勝てるだけでなく、健全であり、周りの様々な人から応援されるというこの部に関わる全ての人が心の底から”誇れる”“チームを創ることを目指します。

最後になりましたが、日々ご支援ご声援を下さっている関係者の皆様に感謝申し上げます。目標に向かって精進してまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

インカレ本戦 沖状況

平素よりいつもお世話になっております。新4回生スナイプスキッパーの倉田章史と申します。私はインカレの沖サポートの報告をさせていただきたいと思います。沖サポートの役割は、風と潮の傾向、理想的なコースをまとめてレース要員に伝えることです。レース要員にわかりやすい情報を与え、出来るだけ海面選択が当たる可能性を上げるという意義深いものでした。レスキューの中は忙しく、風を数分ごとに測り、潮を測り、情報を陸に伝え、同乗するレースメンバーを鼓舞し、盛り上げていると、あっという間に最終レースを迎えました。最終レースの結果にはレスキュー全員で喜び合い、京大ヨット部の強固な団体としての力を感じました。



インカレ本戦 陸状況

平素よりお世話になっております。新3回生スナイプクルーの野口陽矢です。今年のインカレ団体戦について、陸隊長の立場からご報告させていただきます。

ブログでのご報告通り、今年はチーム内で共有される情報の量という面でサポートのレベルが一段階上がったと実感しております。ただ、情報量は多ければ良いわけではありません。レースメンバーとの情報交換に費やせる限られた時間の中で本当に伝えるべき情報を伝える、といった「質」の面ではまだまだ改善の余地があると考えます。

来年以降もサポートを含めた「総合力」を高めていけるよう、部員一同邁進して参りますので、ご支援ご声援のほど、よろしくお願いたします。



交代代式

お疲れ様です。新4回生470クルーの玉木翔大です。今回は、先日11月16日に行われた交代代式について、書かせていただきます。

交代代式では、インカレを終えた先輩方と我々新4回生達がひとりひとり部員やコーチ達の前で話をしていきました。1つの代の終わりでもあり、新しい代の始まりでもある時期だったので、涙ながらに自分の思いを語る部員も多く、自分も非常に心動かされました。

先輩がこの1年感じてきたことや同期達の思いを聞いたので、この話を糧にして、今年1年インカレに向けて尽力していきたいと思います。ここまで読んでいただきありがとうございます。これからもご支援ご協力をいただくと幸いです。



スナイプミックス

お世話になっております。新2回生スナイプクルーの金澤奈津です。11月9、10日に行われたスナイプミックスについて報告させていただきます。

本大会は、前週のインカレと同じ江ノ島ヨットハーバーで開催されました。インカレで出艇していく格好良い先輩の背中を、来週は自分もこの場所でレースに出るんだという期待と緊張が混じった想いで見送ったのを覚えています。レースは琵琶湖の夏合宿では吹いたことのない強風と波で、自分の体力と経験を上回るコンディションでした。しかし、1番艇の774に鈴木さんと乗れたことや初めての海でのヨットなど貴重な経験ができてとても有意義でした。この経験を糧にこれからの練習にも励みたいと思います。



11月ポイントレース

お世話になっております。新3回生470クルーの鍵田です。私からは11/17に開催された第8回柳が崎ポイントレースについて報告させていただきます。当日午前は風に恵まれませんでした。午後には北風が安定し両クラスともに1レースを消化しました。個人としてはスタートの失敗を取り返せないままぶっ叩いてしまい、1レース成立だったためそれを挽回する機会もなく悔しい結果となりました。メンタルが崩れると走れないことを実感し、ペアともっとコミュニケーションを取る事が大切だと感じました。以降のレガッタではこの事を実践できたと思っています。こうした経験も糧にこれからも成長していきたいと思います。写真はポイントレースを控え行われたハーネス争奪戦の様子です。



近畿秋季大会

平素よりお世話になっております。新3回生470スキッパーの篠原文です。11月23日から24日に行われました令和6年度近畿北陸学生ヨット秋季大会について報告いたします。大会初日は西風に恵まれ、継続的な左シフトと風量の変化への対処がカギとなるようなコンディションでした。2日目は南風が安定し、左シフトと左から入るブローをいかに処理するかというコースの戦略性が求められるレースでした。私個人としましては、オーバーの風域でのハンドリングの未熟さや対艇勝負での弱さを痛感したとともに、久しぶりに先輩クルーと乗ったことで自身の実力を改めて確認することができ、非常に学びが多く、これからの成長へとつながるようなレースとなりました。



12月ポイントレース

平素より大変お世話になっております。新3回生スナイプスキッパーの松永です。私からは12/7に開催された第9回柳が崎ポイントレースについて報告させていただきます。

この日は朝から南西の強風によって沈艇が続出するレガッタとなり、2レースを消化いたしました。自艇としては大きな振れと風量に翻弄され6-15と安定しないリザルトになってしまいましたが、クルーの宇都宮(新2)に助けられて前を走る場面もありました。10月のポイントレースも宇都宮と出たので、技術面だけでなく精神面でも彼の成長を感じ、個人的には良いレガッタとなりました。

写真は10月のポイントレースのもので、右の良い笑顔が宇都宮で、左の梅干しが私です。



オフ期間の過ごし方

お世話になっております。新2回生470スキッパーの磯貝梢です。今回は、オフ期間の過ごし方について書かせていただきます。土日には部活がない貴重な機会なので、普段できないことを楽しもうと旅行に行ったり、車校やバイトに長時間費やしてみたりしています。写真は先日、夏の周航で先輩が連れて行って下さったメタセコイア並木に再訪した時のものです。夏とは違った魅力がありとても綺麗でした。

またオフはヨットのことをじっくりと考えられる期間でもあるので、ルールをおさらいする、動画をみる、予定がない日には自主練に行くなどスキルアップにも努めています。良いコンディションで春合宿を迎えられるよう残りのオフも過ごしていきたいです。



日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。今回は、新二回生のお二人です。
畑中響(1),奥山蒼空(1)



470 スキッパー

畑中 響

鷗友学園女子高校新体操部出身。いつもにこにこ時に毒舌?!手が小さくてふわふわでめっちゃかわいい。新体操仕込みの柔軟性と運動神経で京大ヨット部を引っ張っていく存在になるに違いない。

Q.思い出のレース

A.私が思い出に残っているレースは8月に行われた新人戦です。470に乗ってからわずか数日の私にとって、当日は風が強く(今思えば順風くらいだったと思います)、絶望的なメイントリムにより切り上がっては沈を繰り返して、レース中に10回ほど沈しました。うまくいかない悔しさでいっぱいでしたが、この経験が「もっと上手になりたい!」という強い気持ちを生むきっかけとなりました。今後もこの初心を忘れず、努力を続けていきたいと思っています。

Q.今後の目標

A.私はもっと前を走れるスキッパーになるために、自分の感覚や変化を言語化できるようになりたいです。ヨットに乗る際は感覚を駆使して風の強弱や艇速などの様々な変化を感じ、それを頼りにハンドリングしていきますが、感覚を言語化できないと自分の疑問点を先輩やクルーに相談したり、議論を深めることが難しくなります。また、言語化していくことで自分の感覚と考えにより自信が持てると思います。日頃から感覚を言語化することを意識して練習に取り組んでいきたいです。

Q.尊敬する先輩

A.私が尊敬するのは金子先輩です。先輩のヨットに対して冷静かつ真摯に向き合う姿勢を尊敬しています。11月のプレプレで一緒に乗らせてもらった際に、強風に自信の無い私に対して冷静な状態でレースに臨める艇内環境を作ってくださり、私は目の前のレースに集中することができました。この経験を通してレースにおいて環境の変化に振り回されず、自分がコントロールできることに集中することの大切さを学びました。

Q.平日何してる?

A.平日はアルバイトをしたり、ダラダラ過ごしたり、課題をしたり、たまに授業に出たりと平凡な日々を送っていますが、最近は恋愛リアリティーショーハマっています。回を重ねるごとに複雑化する人間関係や、登場人物たちの人間性が次第に明らかになる過程がとても面白く、一度見始めると止まらなくなり、一気見してしまうこともしばしばです。特に友人と一緒に展開についてあれこれ話しながら見ると面白さが倍増するので、ぜひ試してみてください。



snipe スキッパー

奥山 蒼空

兵庫県立姫路東高校卓球部出身。ユーモア溢れる明るく優しい人柄のナイスガイ。特徴を上手く捉えた先輩や同期のものまねは必見。どんなにヒールしてもメインを出さない漢の今後の活躍に期待が高まる。

Q.思い出のレース

A.思い出に残るレースは新人戦です。初めてのレースで、レース前は楽しみというよりは不安でいっぱいでした。他校の船にぶついたらどうしよう。先輩に迷惑をかけたらどうしよう。そんな気持ちでいっぱいでした。しかし、レースはとても楽しかったです。藻がすごくて体感半分くらいは藻を握っていたし、順位もあまり良くなかったけど、純粋に楽しむことができました。この時の純粋な気持ちを時々思い出して、ヨットを楽しみたいです。

Q.平日何してる?

A.私は、オフに入ってから、平日(土日含め)筋トレと増量、勉強を頑張ることにしました。筋トレに関して、オフに入るまでは授業や部活の合宿、バイトなどで忙しく、筋トレに割く時間が確保できなかったけど、今は授業の間などに筋トレをしています。プロテインも買ってみました。勉強に関しては、レベルの高い学科のみんなに追いつけるように、授業後に図書館に行って勉強する時間を増やしました。文武両道目指して頑張ります。

Q.尊敬する先輩

A.私の尊敬する先輩は玉木さんです。先日、玉木さんとご飯を食べる機会があったのですが、その際に玉木さんは、学年が1つ上の先輩だけでなく、それ以上学年が上の先輩も誘ってご飯を食べたりしていました。私は人見知りなので、先輩と深い関わりを持つことが大切であることは分かっていたから、なかなか自分から先輩を誘うのは難しいと思います。玉木さんのそんな先輩に対する姿勢は、私も見習っていこうと思いました。

Q.これまでの部活を振り返って

A.これまでの部活を振り返ると、楽しかった事、しんどかった事、悔しかった事含め初めての体験が多く、ここまであっという間だったように感じます。始めは存在すら知らなかったヨット部に入り、ホッパーを楽しんでいる間にポジションが決まり、レースの経験も得ることができ、気づけばもうすぐ2回生になるうとしています。この一年で技術面でも上達でき、同期や先輩と親睦も深めることができ、人間的にも成長できたと思います。

他にも公式のインスタグラムのアカウントとは別に、今まで作ってきた紹介きれいなほどのたくさんのおいしいマネ飯を発信しているインスタのアカウントがあるので、是非そちらもご覧ください!
右のQRコードを読んでいただくか、
https://instagram.com/kuyc_food?igshid=MzRIODBiNWFIZA==
こちらのリンクから飛んでいただくと閲覧可能です。



京都大学体育会ヨット部
滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫
[tel] 077-525-0312
[hp] <https://www.kuyc-home.com/>
[mail] kuyc.2013@gmail.com
<https://twitter.com/kuyc>
<https://www.facebook.com/kyotosailing/?fref=ts>
https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja